

静岡県営都市公園経営基本計画

第5期

令和6年（2024年）4月

静岡県交通基盤部都市局公園緑地課

1	基本計画の概要	1
	・基本計画策定の目的	
	・位置づけ	
	・対象公園	
	・基本計画の進め方	
2	第5期「静岡県営都市公園基本計画」	2
	・目的・目標	
	・戦略展開の方向性と戦術	
	・推進方法	
3	基本計画に基づく公園運営に当たっての留意点	4
4	各公園の基本計画	
(1)	静岡県草薙総合運動場	5
	①基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ	
	②戦略展開	
	③戦略展開の方向と戦術	
(2)	遠州灘海浜公園（中田島北地区）	7
	①基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ	
	②戦略展開	
	③戦略展開の方向と戦術	
(3)	愛鷹広域公園	9
	①基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ	
	②戦略展開	
	③戦略展開の方向と戦術	

(4) 静岡県富士山こどもの国	11
①基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ	
②戦略展開	
③戦略展開の方向と戦術	
(5) 小笠山総合運動公園	13
①基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ	
②戦略展開	
③戦略展開の方向と戦術	
(6) 吉田公園	15
①基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ	
②戦略展開	
③戦略展開の方向と戦術	
(7) 浜名湖ガーデンパーク	17
①基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ	
②戦略展開	
③戦略展開の方向と戦術	

1 基本計画の概要

計画策定の目的

「県営都市公園経営基本構想」に定める、方針及び各公園の設置目的、目指すべき方向に従い、利用者満足度の向上、利用の増進、効果的で効率的な運営、安全・安心を目指した公園管理を推進するため、2024年度から2028年度までの方策を定める。

位置づけ

- 「県営都市公園経営基本構想」の行動計画である。
基本構想を具体的に実現していくための行動計画(下位計画)と位置づける。
- 県の総合計画及び社会資本総合整備重点計画との整合性を確保する。
県の総合計画及びその下位計画である静岡県社会資本整備重点計画との整合を図り、都市公園の機能を活かした公園運営を展開することにより、総合計画の推進に貢献する。

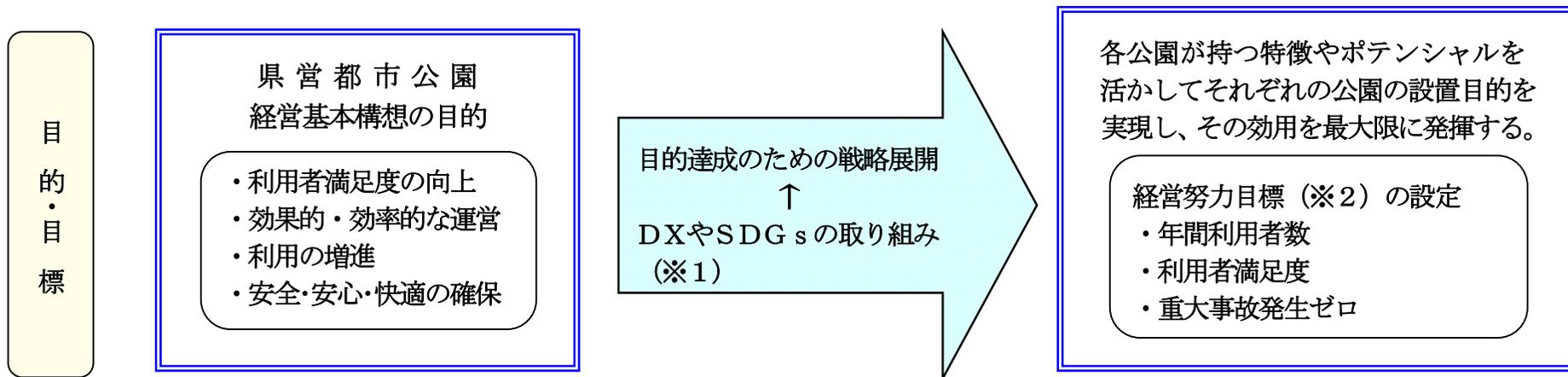
対象公園

公園名	所在地	開設面積	供用開始	都市計画決定種別
静岡県草薙総合運動場	静岡市	26.4 ha	1963. 4. 16	運動公園
遠州灘海浜公園(中田島北地区)	浜松市	20.3 ha	1988. 10. 9	広域公園
愛鷹広域公園	沼津市	19.4 ha	1989. 7. 16	運動公園
静岡県富士山こどもの国	富士市	94.5 ha	1999. 4. 26	広域公園
小笠山総合運動公園	袋井市、掛川市	269.7 ha	2001. 5. 10	広域公園
吉田公園	吉田町	14.3 ha	2001. 8. 1	総合公園
浜名湖ガーデンパーク	浜松市	56.0 ha	2005. 6. 5	広域公園

計画の進め方

- **計画期間**
2024年度(令和6年度) から 2028年度(令和10年度)
- **計画の進行管理**
 - ・ 基本計画を適切に進行管理していくため、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、見直し(Action)によるマネジメントサイクルを実施する。
 - ・ それぞれの戦略の取組成果について評価、検討する外部評価を実施する。

2 第5期「静岡県都市公園経営基本計画」



※1 DXの取り組みは、各公園で公園利用のきっかけに繋がるよう広くイベント等の情報を発信し、また公園利用時にも植物の情報等園内情報の提供などを検討する。さらに、施設管理でも設備の点検情報のデータ管理等活用を推進する。

SDGsの取り組みは、17目標のうち、3すべての人に健康と福祉を・4質の高い教育をみんなに・8働きがいも経済成長も・9産業と技術革新の基盤づくり・12つくる責任つかう責任・13気候変動に具体的な対策・15陸の豊かさを守ろう・16平和と公正をすべての人にの8目標を優先的に意識して、健康維持の運動教室やボランティアや地域団体との協働、公園内の自然維持や地産地消の取り組みへの協力、施設維持の工事でのカーボンニュートラルの取り組みなどを進めていく。

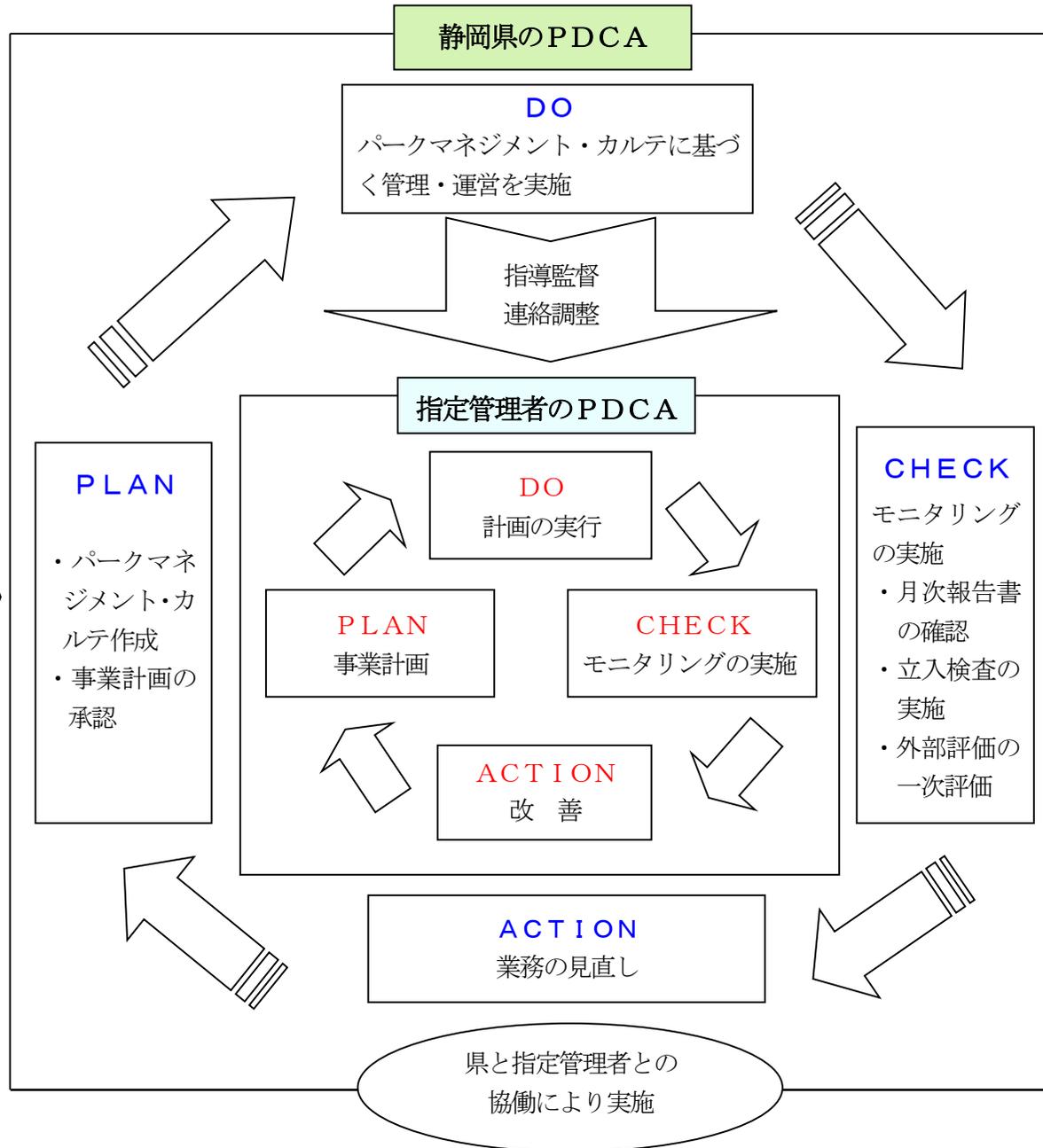
※2 2028年度時点で達成すべき「年間利用者数」、「利用者満足度」については、これまでの公園の運営状況等を踏まえて定める。公園運営をより適切に評価して業務の見直しを進めていくため、経営努力目標も設定内容を見直し、調査・検討を進めていく。経営努力目標ではないが、運営の参考指標として、「リピーター割合」の視点を追加して、今後の公園の利用増進に、新規利用と複数利用の割合を考えて、新たな取り組みや現在の取り組みの拡大や取止め等で運営を見直していく。

戦略展開の方向性と戦術

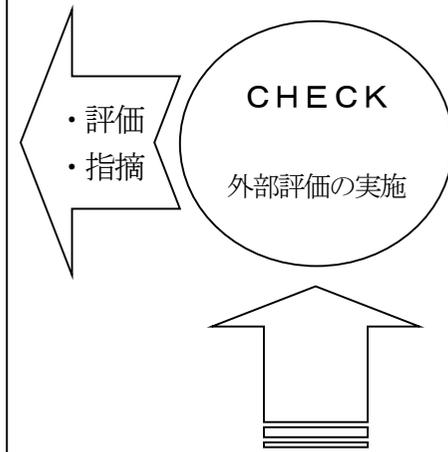
- ・今までの運営成果等より、指定管理者による運営管理（5年単位）は継続する。次期の公募は令和6、7年に実施する。
- ・県は施設管理者として、それぞれの公園の設置目的を実現するために必要な戦術(施策)の主軸を基本計画で示し、具体的な戦術の実施については、指定管理者の公募時における運営管理者としての提案や、指定管理者選定後の取り組みに対し、県と指定管理者の双方の協力関係の下で各公園ごとに戦術を進めて、県として目指すべき公園の実現につなげる。
- ・全ての公園に共通した機能として、「多様化する利用者ニーズを踏まえたサービスの提供」と「安全・安心・快適な施設の提供」にデジタル技術の活用やカーボンニュートラルなど持続可能な取り組みを、重要な視点として取り組む。
- ・社会情勢の変動が多々生じているが、各公園で目的・目標に沿った運営で収入を確保する取り組みを見いだす。

推進方法

県営都市公園経営基本計画



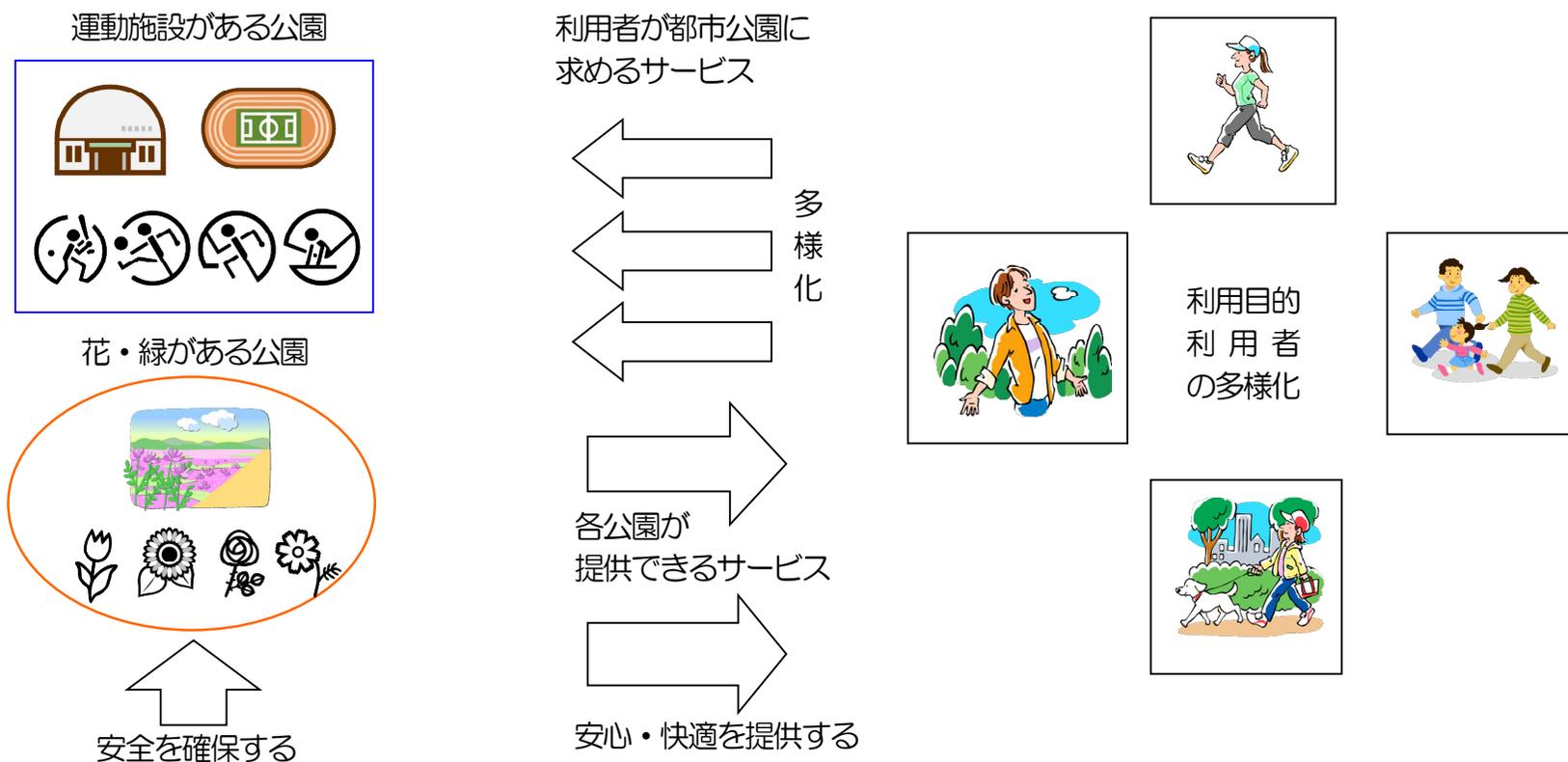
・各県営都市公園の戦略展開について、経営基本計画に「戦略」、「機能」、「戦術」を盛り込み、「具体的施策の内容」はパークマネジメント・カルテにより管理する。
・マネジメントサイクルに外部評価を取り入れ、より着実な進行管理を行う。



・外部評価アンケートの実施
・都市公園モニター調査の実施
・パークマネジメント・カルテの実績
・改善事項に対する措置状況

3 基本計画に基づく公園運営に当たっての留意点

- (1) 都市公園は、憩いの場、スポーツの場、レクリエーションの場など多様なニーズが求められていることから、基本計画に基づき、安全・安心・快適を第一とした上で、各公園の利用の増進、利用者満足度の向上などに繋がる各公園の魅力を最大限に発揮することで、各公園の設置目的の実現を図っていく。
- (2) 各県営都市公園の「戦略展開の方向と戦術」は、それぞれの公園で効果的・効率的な公園運営の実現に向けて、民間活力を活用すべく、各種制度や公園を取り巻く環境を検討し、進めていくものであり、戦術項目に対する戦術は次に記載するものに限るものではなく、別の方向・戦略により目的につながる視点や取り組みについて、施設管理者の県と公園運営者である指定管理者にて柔軟に実施する。
- (3) 各県営都市公園の県にて取り組む中長期的な維持管理計画として、令和5年度より実施している「公園施設中期維持保全計画」については、5年ごとに実施する「県有施設劣化診断」の結果を反映して対象工事等は変更となる。また、公園施設以外の県有施設も含めて全県の施設を対象として修繕等の実施年度は調整されるため、確定計画ではない。



4 各公園の基本計画

(1) 静岡県草薙総合運動場

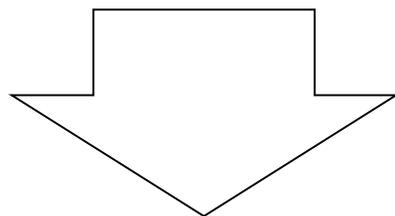
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

県中部地域のスポーツの拠点となるとともに、その立地、歴史を踏まえ、全県レベルの利用も視野に入れ、地域や利用者が交流できる場としての公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

- 野球場やこのはなアリーナ(体育館) など運動施設を活用してスポーツ振興、地域振興の役割を果たす。
- 県中部地域を代表する競技施設、また、小笠山総合運動公園にない施設については、引き続き県の主格となる施設としての役割を果たす。
- 市街地の中の憩いの場としての役割を果たす。

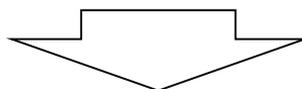


<経営努力目標:2028 年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:92.4 万人(うち有料公園施設利用者数79.8 万人)
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点) :4. 5
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開

戦略	多様なスポーツに親しむ 拠点としての機能充実	地域利用・地域連携の 促進	利用者サービスの向上	安全・安心・快適の提供
機能	多様なスポーツニーズに対応 する施設としての体制強化	地域や利用者の方々が 利用しやすい場の提供等	利用者ニーズを踏まえた サービスの提供等	安全・安心で快適な施設・ 空間の提供
戦術	大規模大会等の誘致、 スポーツプログラムの提供	各種イベントの開催、散策等 スポーツ以外の利用も促進	アンケートによるニーズ の把握と反映等	施設維持・安全管理の情報 共有、事故や災害時の訓練



利用の増進

効率的で効果的な運営

持続可能な施設の維持

安全・安心・快適の確保

運営の健全化推進

③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 多様なスポーツに親しむ 拠点としての機能充実	多様なスポーツニーズに対応する施設 としての体制強化	プロ野球公式戦、全国大会、イベントの誘致
		県大会等県全体や中部地区の大会・イベント等の誘致
		スポーツプログラムの提供及びスポーツイベントの開催 (生涯スポーツ、パラスポーツも推進)
戦略2 地域利用、地域連携の促進	地域や利用者の方々が利用しやすい場 の提供	文化イベント等のスポーツ以外の各種イベントの誘致・開催
		健康増進・レクリエーションの場としての活用（生涯スポーツ、パラスポーツの推進）
		一般利用者のための散策エリア等緑地空間の提供（モデルコースや見どころ等を紹介）
	地域との連携・協働	ボランティア活動の場の提供とボランティアの公園運営への積極的参画 行政・教育機関・企業・団体、周辺施設等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の獲得)
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	多様な手法を活用した公園の魅力発信とイベント情報の提供
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を確保するための施設の維持管理
		長寿命化の観点からの計画的な維持補修
		施設維持・安全管理の情報共有、事故や災害時の訓練 マニュアル整備、研修・訓練の実施、防災拠点であることの周知及び機能の確保
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、 インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な 空間の創出

(2) 遠州灘海浜公園

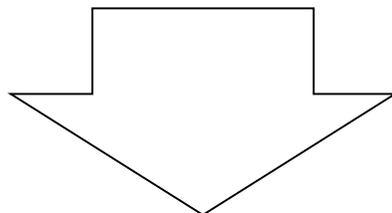
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

県西部地域における県民のスポーツ・レクリエーション需要に対応し、また、野鳥観察園等自然環境を生かした環境学習の場としての公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

- 県西部地域の代表的な球技場として、ラグビーやサッカーなど多目的な役割を果たす。
- 地域住民に健康増進やレクリエーションの場を提供する。
- 野鳥観察など自然とのふれあいを楽しむ機会を提供する。

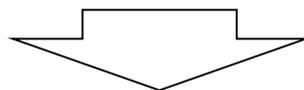


<経営努力目標:2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:11.8万人 (うち有料公園施設利用者数 3.3万人)
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点) :4.5
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開

戦略	機能	戦術	スポーツに親しみ自然に学ぶ場の提供	地域利用・地域連携の促進	利用者サービスの向上	安全・安心・快適の提供
			スポーツに親しむ場の提供、自然に学ぶ場の提供	地域利用の場の提供、地域との連携・協働	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供等	安全・安心で快適な施設・空間の提供
			スポーツや自然観察、文化イベントの提供等	快適な園地(芝生広場・遊具広場等)の提供等	アンケートによるニーズの把握と反映等	施設維持・安全管理の情報共有、事故や災害時の訓練



利用の増進

効率的で効果的な運営

持続可能な施設の維持

安全・安心・快適の確保

運営の健全化推進

③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 スポーツに親しみ自然に 学ぶ場の提供	スポーツに親しむ場の提供	スポーツイベントやスポーツプログラムの提供 (生涯スポーツ、パラスポーツの推進)
	自然に学ぶ場の提供	自然観察、環境学習等のプログラムの提供
戦略2 地域利用、地域連携の促進	地域利用の場の提供	快適な園地（芝生広場・遊具広場等）の提供
		文化イベント等のスポーツ以外の各種イベントの誘致・開催
	地域との連携・協働	ボランティア活動の場の提供とボランティアの公園運営への積極的参画
		行政・教育機関・企業・団体、周辺施設等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の獲得)
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	多様な手法を活用した公園の魅力発信とイベント情報の提供
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を確保するために積極的な施設の維持管理
		長寿命化の観点からの計画的な維持補修
		危機管理行動や設備維持マニュアルなどの整備、研修・訓練の実施
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な空間の創出

(3) 愛鷹広域公園

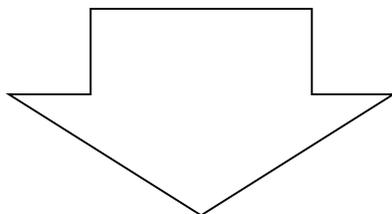
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

県東部地域を代表する野球場、多目的競技場を有し、当地域のスポーツの拠点となる公園として、また、自然と親しむ場としての公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

- 県東部地域のスポーツの拠点としての役割を果たす。
- 公園内の自然環境を生かした活動により、環境保全・環境学習の場を提供する。

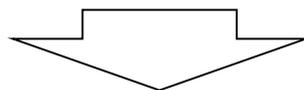


<経営努力目標:2028 年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:28.4 万人 (うち有料公園施設利用者数 23 万人)
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点) :4. 5
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開

戦略 機能 戦術		地域スポーツの拠点としての充実	地域利用・地域連携の促進	利用者サービスの向上	安全・安心・快適の提供
		県東部地域のスポーツ振興のための大会・イベントの実施	自然と親しむ場の提供、地域との連携・協働	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供等	安全・安心で快適な施設・空間の提供
		スポーツプログラムの提供やスポーツイベントの開催等	余暇活用・健康増進での活用を推進、文化イベントの推進等	アンケートによるニーズの把握と反映等	マニュアル整備、訓練実施、ユニバーサルデザインの推進 等



利用の増進	効率的で効果的な運営	持続可能な施設の維持	安全・安心・快適の確保	運営の健全化推進
-------	------------	------------	-------------	----------

③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 地域スポーツの拠点としての充実	県東部地域のスポーツ振興のための大会・イベントの実施	県東部地区等定番大会・イベント等の開催
		スポーツプログラムの提供及びスポーツイベントの開催 (生涯スポーツ、パラスポーツの推進)
戦略2 地域利用、地域連携の促進	自然と親しむ場の提供	余暇活用・健康増進での活用を推進
		自然と親しむイベント、自然観察プログラム等の提供
	地域との連携・協働	文化イベントや健康づくりなどを通じた賑わいやコミュニティーの創出
		ボランティア活動の場の提供とボランティアの公園運営への積極的参画 行政・教育機関・企業・団体、周辺施設等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の獲得)
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	多様な手法を活用した公園の魅力発信とイベント情報の提供
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を確保するために積極的な施設の維持管理
		長寿命化の観点からの計画的な維持補修
		危機管理行動や設備維持マニュアルなどの整備、研修・訓練の実施 防災拠点であることの周知及び機能の確保
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、 インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な 空間の創出

(4) 静岡県富士山こどもの国

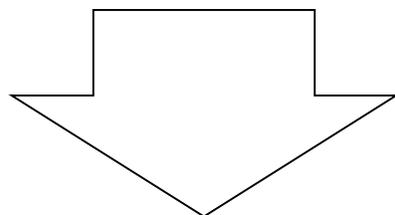
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

次代を担う子ども達が、富士山麓の雄大な自然の中で、友達や家族と元気にのびのびと遊ぶことを通じて、生命の尊さや自然の豊かさを学び、夢や冒険心を育むことができる場として、また、広い世代を対象として地域活動を活かした利用者の交流できる場としての公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

○全県の子ども達や幅広い世代の人達に対し、地域の人材や団体が培った知識や経験を活用し、創造性が発揮できる自然の中の魅力ある遊び場や多彩なイベント、プログラムなどを提供するとともに、恵まれた自然環境を生かし、環境学習の拠点を目指す。

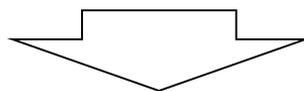


<経営努力目標:2028 年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:23.2 万人
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点) :4. 6
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開

戦略	機能	戦術	自然の中での遊び・体験の機会を提供	地域利用・地域連携の促進	利用者サービスの向上	安全・安心・快適の提供
			自然を生かした多様な遊び・体験の提供等	地域や利用者の方々が交流できる場の提供等	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供等	安全・安心で快適な施設・空間の提供
			自由な発想で遊びを創意工夫できる機会を提供等	余暇活用・健康増進での活用を推進等	アンケートによるニーズの把握と反映等	マニュアル整備、訓練実施、ユニバーサルデザインの推進 等



利用の増進	効率的で効果的な運営	持続可能な施設の維持	安全・安心・快適の確保	運営の健全化推進
-------	------------	------------	-------------	----------

③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 自然の中での遊び・体験の機会を提供	自然を生かした多様な遊び、夢や冒険心を育む遊び場の提供	自由な発想で遊びを創意工夫できる機会の提供
		四季折々の自然を取り入れた遊びの実施・紹介
		自然や公園の特徴を生かしたイベントを広い世代を対象に開催
		宿泊利用者や海外インバウンド利用者等の利用推進
	生命の尊さや自然の豊かさを学ぶ場の提供	自然のすばらしさ、大切さを体験する場を提供
		動物達とのふれあい体験の場を提供
自然と親しむイベント、自然観察プログラム等の提供		
戦略2 地域利用、地域連携の促進	地域や利用者の方々が交流できる場の提供	余暇活用・健康増進での活用を推進
	地域との連携・協働	ボランティア活動の場の提供とボランティアの公園運営への積極的参画
		行政・教育機関・企業・団体、周辺施設等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に複数回利用者の獲得)
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	情報を求めている人に、公園の魅力発信とイベント情報の提供ができるよう利用者等の分析も含め、新たな広報手段等も活用する
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を確保するために積極的な施設の維持管理
		長寿命化の観点からの計画的な維持補修
		危機管理行動や設備維持マニュアルなどの整備、研修・訓練の実施
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な空間の創出

(5) 小笠山総合運動公園

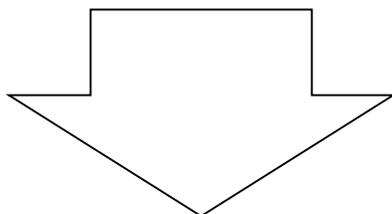
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

サッカーやラグビーの世界カップを開催したトップレベルの競技施設を活かして、「本県スポーツの主役」とするとともに、健康づくり、文化・レクリエーション及び自然と親しむ場としての公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

- エコパスタジアム、エコパアリーナ…………… 「本県スポーツの主役」として、東海地区や県の代表的スポーツ競技の開催を誘致するとともに、コンサートをはじめとする大規模文化イベント会場としての利用も図る。
- 芝生広場、園地等…………… 県民の健康増進やレクリエーションの場を提供する。
- 森林エリア…………… 小笠山の豊かな自然との触れ合いを楽しむ機会を提供する。

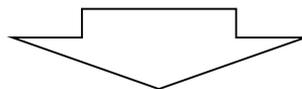


<経営努力目標:2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:112万人(うち有料公園施設利用者数97.6万人)
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点):4.6
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開

戦略 機能 戦術		本県スポーツの主役としての役割強化	地域利用・多目的利用、地域連携の促進	利用者サービスの向上	安全・安心・快適の提供
		県の頂点となる大会の開催	地域利用・多目的利用の推進、地域企業との連携・協働	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供等	安全・安心で快適な施設・空間の提供
		国際大会等優先順位の高い競技会の誘致等	アウトドア系プログラムの提供、文化イベント等による活用等	アンケートによるニーズの把握と反映等	マニュアル整備、訓練実施、ユニバーサルデザインの推進等



利用の増進	効率的で効果的な運営	持続可能な施設の維持	安全・安心・快適の確保	運営の健全化推進
-------	------------	------------	-------------	----------

③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 本県スポーツの主力としての役割強化	県の頂点となる大会の開催（国際大会、全国大会、県大会等）	アジア大会 2026 サッカー会場など
		国際大会、全日本選手権大会等優先順位の高い競技会の誘致
		県選手権大会等定番大会・イベント等の開催 （生涯スポーツ、パラスポーツの推進）
戦略2 地域利用・多目的利用、 地域連携の促進	地域利用・多目的利用の推進	健康福祉・生涯スポーツの利用の促進、アウトドア系プログラムの提供 （パラスポーツも推進）
		文化イベント等による活用
		自然・環境学習や遠足の場としての利用促進
	地域・企業との連携・協働	ボランティア活動への場の提供とボランティアの公園運営への積極的参画
行政・教育機関・企業・団体、周辺施設等との連携・協働（イベント等誘致）		
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 （利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の獲得）
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	情報を求めている人に、公園の魅力発信とイベント情報の提供ができるよう利用者等の分析も含め、新たな広報手段等も活用する
収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元	
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を確保するために積極的な施設の維持管理
		長寿命化の観点からの計画的な維持補修
		危機管理行動や設備維持マニュアルなどの整備、研修・訓練の実施 防災拠点であることの周知及び機能の確保
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、 インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な 空間の創出

(6) 吉田公園

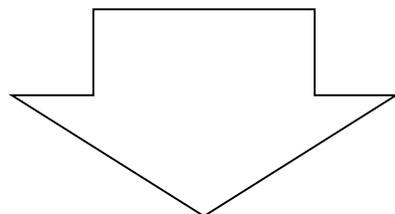
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

花や緑に親しみながらレクリエーションや憩いの場として、誰もが安心して利用できる場を目指し、新しいスタイルの県民参加の公園運営を目指す。

<役割・位置づけ>

- 志太・榛原地域における憩いの場として位置づける。
- 身近な花や緑など自然に親しむ場を提供する。
- 県民参加による公園の管理運営の場とする。

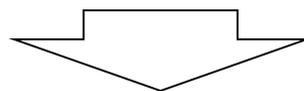


<経営努力目標:2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:16.8万人
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点):4.5
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開

戦略	花や緑とふれあう憩いの場の提供	地域利用・地域連携の促進	利用者サービスの向上	安全・安心・快適の提供
機能	花や緑に親しむ機会の提供	地域住民の利用促進、地域との連携・協働	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供等	安全・安心で快適な施設の提供
戦術	園内の各エリアの特色を生かした緑地空間を提供等	地域イベントの誘致・開催、ボランティアの積極的活用等	アンケートによるニーズの把握と反映等	マニュアル整備、訓練実施、ユニバーサルデザインの推進等



利用の増進	効率的で効果的な運営	持続可能な施設の維持	安全・安心・快適の確保	運営の健全化推進
-------	------------	------------	-------------	----------

③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 花や緑とふれあう憩いの場の提供	花や緑に親しむ機会の提供	園内の各エリアの特色を生かした緑地空間の提供
		花や緑に親しむイベント・プログラムの提供
戦略2 地域利用、地域連携の促進	地域住民の利用促進	地域イベントの誘致・開催
	地域との連携・協働	ボランティア活動の場の提供とボランティアの公園運営への積極的参画の促進
		行政・教育機関・企業・団体、周辺施設等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の獲得)
		接客サービスの向上
	公園の魅力の広報	新たな広報手段等を活用し、情報を求めている人に公園の魅力発信を行うとともに、イベント情報の提供ができるよう利用者等の分析も行う。
	収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元
戦略4 安全・安心を提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を確保するために積極的な施設の維持管理
		長寿命化の観点からの計画的な維持補修
		危機管理行動や設備維持マニュアルなどの整備、研修・訓練の実施
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な空間の創出

(7) 浜名湖ガーデンパーク

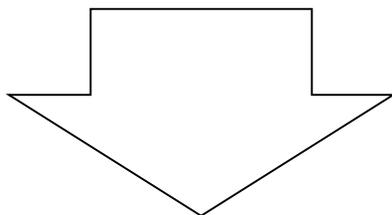
① 基本構想における公園の設置目的、役割、位置づけ

<設置目的>

浜名湖の恵まれた水辺環境や景観を生かし、多様なレクリエーションの場を提供するとともに、浜名湖花博の資産を継承し、園芸や庭園等の文化の国内外に向けた発信・活動の場となる公園として、幅広い世代に愛される公園を目指す。

<役割・位置づけ>

- 多彩な花・緑・水・庭と触れ合う、憩い・やすらぎの場を提供し、花と緑のある暮らしの素晴らしさを伝える。
- 幅広い世代が楽しめるレクリエーションや人々の交流の場を提供する。
- 浜名湖周辺地域の魅力の発信の場としての役割を果たす。
- 県民参加による公園の管理運営の場とする。

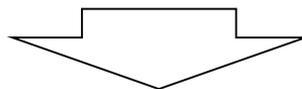


<経営努力目標:2028年度(目標達成年度)>

- ・年間利用者数:143万人
- ・アンケート調査結果による利用者満足度(5点満点) :4.5
- ・重大事故発生ゼロ

② 戦略展開

戦略	機能	戦術	浜名湖畔の特色を生かした公園の魅力づくり	地域利用・多目的利用、地域連携の促進	利用者サービスの向上	安全・安心快適の提供
			憩いの場として、多彩な花・緑との出会いの場を提	多様な体験の場の提供 地域との連携・協働	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供等	安全・安心で快適な施設の提供
			質の高い特徴的な花壇、庭、樹林などの景観の創出等	地域イベントの誘致、ボランティアの積極的活用等	アンケートによるニーズの把握と反映等	マニュアル整備、訓練実施、ユニバーサルデザインの推進 等



利用の増進	効率的で効果的な運営	持続可能な施設の維持	安全・安心・快適の確保	運営の健全化推進
-------	------------	------------	-------------	----------

③ 戦略展開の方向と戦術

戦略項目	機能	戦術
戦略1 浜名湖畔の特色を生かした 公園の魅力づくり	憩いの場として、多彩な花・緑との 出会いの場を提供	質の高い特徴的な花壇、庭、樹林や浜名湖畔の情景による良好な景観の創出
		個性的な魅力づくりを推進するための園芸・庭園に関するプログラムの提供
戦略2 地域利用・多目的利用、 地域連携の促進	多様な体験の場の提供	地域イベントの誘致・健康プログラムの提供
		緑豊かな公園の環境を生かした自然学習プログラムの提供
	地域との連携・協働	ボランティア活動の場の提供とボランティアの公園運営への積極的参画の促進
		地元の行政・教育機関・自治会・企業・周辺施設及びNPO等との連携・協働
戦略3 利用者サービスの向上	利用者ニーズを踏まえたサービスの提供	利用者アンケート等によるニーズの把握と反映 (利用回数によるリピーター割合を参考に新規利用者の獲得)
		浜名湖花博 2024 から継承するサービスの提供・活用
		インバウンド利用者等を含めて観光利用者へのアプローチ
	公園の魅力の広報	情報を求めている人に、公園の魅力発信とイベント情報の提供ができるよう利用者等の分析も含め、新たな広報手段等も活用する
収益向上への取組	収益向上策の実施と公園管理への還元	
戦略4 安全・安心の提供	安全・安心で快適な施設の提供	安全・安心を確保するために積極的な施設の維持管理
		長寿命化の観点からの計画的な維持補修
		危機管理行動や設備維持マニュアルなどの整備、研修・訓練の実施
		ユニバーサルデザインの活用、バリアフリーを基本とした運営により、インクルーシブ（多様な人が安全かつスムーズに滞在・移動できる）な空間の創出